

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス ばんびーの		公表日	2026年3月17日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	8		パーティションを区切るなどして、スペースを確保する事を実行している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	マンツーマン対応しなくてはいつけない時は、スタッフを多めに配置している。	曜日にもよるが、どうしてもマンツーマンで対応しなくてはならない状況だと足りないことがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	わかりやすくスケジュールを見える化にしたり、手順を分かりやすく表示しています。	トイレの段差があります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	8		気持ちが落ち着けるよう心地よい環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		プレイルームでも活動室でも、個別の部屋を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	振り返りは毎回行い、職員と密に話し合いをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	保護者の意向やお困りごとなどを聞かせていただくために、年に2回ほど面談の機会を設けております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		振り返りや週ミーティングの際に、職員の意見を聞く機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		第三者による外部評価は行っていませんので、行ってみたいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		毎月研修は行っています。その為のスケジュール管理も行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		日程を決めてプログラムを作成し、毎月の通信などで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者面談などでアセスメントを行い、ケース記録やミーティングを重ねて計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		ミーティングなどで何度も話し合いを重ねて常に確認し検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		ケース記録に沿って計画をたて共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の行動観察はケース記録やミーティングで、アセスメントを使用されている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		アセスメント結果に基づき、必要な支援項目を適切に設定しています。また目標に対応した具体的な支援内容を明確に計画にしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員間で計画的にミーティングを実施し、チームで検証した上で決定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	定期的にミーティングを実施し、支援の在り方や活動内容について検討しています。個々の発達や興味関心を踏まえながら、目的をもった療育活動を企画・実施しています。	

供

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の状況に応じて、個別での課題対応と、集団活動を通じたコミュニケーションや社会性の育成を組み合わせた計画を作成し、目標に沿って支援を実施しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼時には必ず職員間でミーティングを実施し、当日の支援内容及び役割分担を明確にしたうえで、チームとして連携して支援を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終了後は振り返りを実施し、当日実施できなかった場合は翌日の朝礼時に前日の振り返りを行うなど、継続的な支援の質の向上に努めています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎回ケース記録を作成し、記録の徹底を図っています。記録内容を基に支援の検証を行い、計画の見直しや改善につなげています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月ごとにモニタリングを実施しています。保護者面談を通して状況や課題を確認し、継続・達成の判断を行なったうえで、必要に応じて計画の見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		ガイドラインに示されている4つの基本活動を踏まえ、個々の状況に応じて計画的に支援を実施しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己選択ができるよう選択肢を提示し、自ら考えて決定する機会を設けるなど、自己決定の力を育てる支援を行っています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		会議には、お子様の状況を十分に把握している管理者および児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		情報共有を行いながら支援を実施する体制を整えています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校との情報共有を行い、日常的に連絡調整を行っています。送迎時の対応やトラブル発生時についても、選やかに連絡・共有する体制を整えています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	該当する保育所・幼稚園・認定こども園との連携はありませんが、児童発達支援事業所とは情報共有を行い、相互理解に努めています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	これまでの支援内容や児童の特性などについて情報提供を行い、支援の継続性が保たれるよう努めている。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	地域の児童発達支援センター等と連携を図り、事例検討会や研修会などのお知らせを随時いただいています。参加可能な場合には出席しています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	現在、活動する機会ほとんど設けられていません。	時間的な制約はありますが、機械があれば検討していきたいと思っています。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	参加は現在出来ていません。	案内メールは最近届くようになるので、参加できると良いなと思っています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		電話やメール、6か月ごとの面談で状況を共有し、保護者と共通理解を図っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	必要に応じてご家庭へ連絡や訪問を行い、状況や課題を共有しながら支援を行っています。また研修や勉強会の情報は連絡帳やメールでお知らせしています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用契約時やお手紙、メールなどで、支援プログラムや利用者負担について丁寧に説明しています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時のアセスメント、個別支援計画見直し時の保護者面談などで意向を確認し、お子様やご家庭の意思を尊重しています。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		モニタリング記録表や個別支援計画書を通して、内容を説明し、連絡帳で確認後、保護者及び本人の署名を頂き同意を得ています。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		子育ての悩み等の相談に応じ、必要に応じて面談や助言などの支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者会を開催したことはありますが、参加が難しい家庭も多く、十分な交流の機会を設けることが出来ていません。	今後は実施方法を工夫し、交流の機会を検討していきたいです。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情対応の体制を整備し、契約時に周知しています。苦情があった場合には、管理者が中心となり迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月通信を発行し、ホームページ・SNSを活用して活動内容などを発信しています。写真掲載は契約時に確認し、同意を得ています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報(は十分に配慮し、個人ファイルは施錠できる場所に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		十分に配慮しています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	6		ダンスクラスでは地域のお祭りやイベントに参加し、事業所の発表会にも地域の方々を招くなど、地域に関わられた運営を行っています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを作成し、職員へ周知しています。発生を想定した訓練も実施しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害に備えて利用者・職員を含めた避難訓練を定期的に実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	アセスメントで服薬・発作の有無を確認し、職員研修を行い対応体制を整えています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時にアレルギーの有無を確認し、必要に応じて対処法を共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、毎年研修や訓練を実施するなど、安全管理を徹底した中で支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に基づく取組内容について、契約時等に家族へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットについては、毎週のミーティングで各職員が報告し、再発防止に向けた方策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待委員会を設置し、毎年職員研修を実施するなど、適切な対応を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束は組織的に検討・決定し、保護者へ説明・同意のうえ計画に記載しています。研修も実施しています。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
児童デイサービス ばんびーの		令和8年 3月 17日				35		74%	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	2	0	0	特に月曜日の運動は場所が広い		
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1	0	1	活動時の様子は不明	職員の配置数は問題ありません。 児童指導員の資格を持ち経験のあるスタッフが揃っております。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	0	2	玄関前に小さな段差がある。	外から事業所に入る所にちょっとした段差があるので部屋、声かけを行っております。 スロープなどの設置予定はありません。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	3	0	0				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	0	1		保護者ニーズとご本人のニーズは毎年変わっていくと思うので、サポートシートは毎年更新し、それをもとに計画を作成しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	0			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	1		ここに応じての「本人支援」「家族支援」「移行支援」の内容を設定し、具体的な支援内容を設定しています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	1		長期・短期目標を設定し、日々の療育後にケース記録を作成し、計画に対しての評価を日々おこなっております。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	0	1		月ごとに療育内容を更新してマンネリ化しないようにしています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	3	12		現状といたしましては他事業所や児童クラブとの交流の場は設定していません。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	2	8	・現在、保護者同士の交流はない 家族への支援は十分にさせていただいている	【茶話会】などの開催は以前より検討していますが、営業時間と各ご家庭のスケジュールを鑑みずと実施が難しいのが現状です。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	2	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	1		職員の親族に当事者がいたりしますので、共感出来る相談や具体的な解決策などを一緒に考えさせていただきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	5	11	現在保護者同士の交流はない。家族への支援は十分に？いただいている。	父母の会はありません。以前茶話会を企画しましたが平日開催なので数名しか集まらず、現在はダンスイベントの際に少し顔を合わせるくらいになっております。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	0	0	2		年に1度の放デイ説明会等のイベントにも出店し、都度電話での相談や体験希望にも対応しております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	2		個人ファイルなどは鍵付きの書庫に保管しており、職員に対しても個人情報の取り扱いに関して誓約書を交わしておりますのでご安心ください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2	0	5		事業所内で決まった月に研修を行い、避難訓練等は利用者と共にっておりますが保護者様に周知説明はあまりできていないので、ばんぐ通信などに記載していきたいと思っております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	6		上記と同様 事業所内で決まった月に研修を行い（地震、水害、火災） 避難訓練等は利用者と共にっております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2	0	1		施設内では机や棚の角や、物が落ちたら危険な場所 にあらかじめ角カバーやネット等使い、安全対策を 講じています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1	0	3		契約時に説明をしておりますが、それ以降改めて説明する機会があまりないので、職員研修を行った際などに改めて保護者様にもお伝え出来るよう心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0		これからも安心して通所出来る環境づくりを日々模索していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2	0	0	・いつも楽しく通わせていただいています。ありがとうございます	これからも好きな物、得意なことを見つけ一人一人の可能性を広げられるサポートをさせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	2	0	0		いつもご理解ご協力感謝いたします。 なにかご不明な点がございましたらいつでもご連絡ください。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ばんびーの		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	《活動の機会拡大》 運動・ダンス・音楽・パソコンなどの多様なプログラムを通じて、児童が地域で自己表現や学びを発揮できる場を増やす。	○利用者の興味や得意・不得意に合わせて、個別に内容を調整している ○成長の振り返りや目標設定を意識的にいき、達成感や自己肯定感に繋げている	○地域の学校や福祉施設、イベント団体と連携し、運動・ダンス・音楽・パソコンの発表や体験の場を増やす
2	《プログラムの質向上》 各療育の内容を体系化し、成長記録や振り返りを取り入れて、利用者一人一人の能力や興味に応じた支援を強化する。	○地域発表の場では、練習から発表までを段階的に分け、達成感を味わえるよう工夫 ○緊張や不安を抱える利用者へのサポートを丁寧に意識している	○個々の成長や興味に応じた段階的なカリキュラム作りを進め、達成感や表現力の向上に繋げる
3	《地域・保護者との連携強化》 活動報告や広報を通して、保護者や地域に情報を共有し、特色ある療育を地域に発信し信頼関係や交流を深める	○活動内容や成果を保護者にわかりやすく共有するため、写真や動画を活用 ○地域イベントの機会を通じて利用者や地域との関りを意識的に増やしている	○活動の成果を動画やレポートで共有し、地域や保護者と一緒に活動の価値を高める仕組みを作る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや他施設との交流の機会が限られており、地域との関りを更に広げる必要がある。	他施設との交流やイベント参加は、時間や職員配置の制約で計画的に機会を作ることが難しい。	他施設や地域イベントとの連携を計画的に進め、利用者の社会的経験の場を増やす。
2	職員の専門性が得意分野に偏っており、全体の療育の幅を広げる余地がある。	職員の専門性はとくい分野に偏っており、研修や経験の機会が十分ではない。	研修や情報共有の機会を増やし、職員の専門性を高め多様な療育に対応できる体制を整える。
3	個別支援の記録や振り返りの活用がまだ定着途上で、体系化を進める必要がある。	個別支援記録や振り返りのルール・活用方法が整理されておらず、日常業務での定着が進んでいない。	個別支援記録や振り返りのルールを整備し、日常業務で活用できる仕組みを強化する。